



厚生・産業常任委員会資料  
平成25年（2013年）1月22日  
商工観光労働部商工政策課

# 水環境ビジネス推進の取り組み状況について

平成25年1月  
滋賀県商工観光労働部商工政策課

# 1. 水環境ビジネスをめぐる国内外の現状

## (1) 世界の水資源および水ビジネスの状況

- アジア諸国をはじめとして、人口増加や都市化・工業化の進展とともに、世界的に水需要が急増する見込み。
- 2025年の水ビジネス市場規模は100兆円予測。
- 企業、政府等による水ビジネスの海外展開が活発化。

■ : 成長ゾーン、■ : ポリウムゾーン、■ : 成長・ポリウムゾーン  
 (市場成長率2倍以上) (市場規模10兆円以上)  
 (上段:2025年…合計87兆円、下段:2007年…合計36兆円)

	成長ゾーン (市場成長率2倍以上)	ポリウムゾーン (市場規模10兆円以上)	成長・ポリウムゾーン
	素材・部材供給 コンサル・建設・ 設計	管理・運営サービス	合計
上水	19.0兆円 (6.6兆円)	19.8兆円 (10.6兆円)	38.8兆円 (17.2兆円)
海水淡水化	1.0兆円 (0.5兆円)	3.4兆円 (0.7兆円)	4.4兆円 (1.2兆円)
工業用水・ 工業下水	5.3兆円 (2.2兆円)	0.4兆円 (0.2兆円)	5.7兆円 (2.4兆円)
再利用水	2.1兆円 (0.1兆円)	-	2.1兆円 (0.1兆円)
下水(処理)	21.1兆円 (7.6兆円)	14.4兆円 (7.8兆円)	35.5兆円 (15.3兆円)
合計	48.5兆円 (16.9兆円)	38.0兆円 (19.3兆円)	86.5兆円 (36.2兆円)

出典) Global Water Market2008 および経済産業省試算、(注)1ドル=100円換算  
 資料: 経済産業省「水ビジネス国際展開研究会」第1回配布資料(2009年10月15日)より

図 世界の水ビジネス市場の成長見通し

## (2) 自治体における水ビジネスの取組状況

- 政令指定都市(横浜市、大阪市、北九州市等)を中心に、これまでの上下水道の運営管理の実績や国際技術協力でのネットワークを活かした、上下水道インフラ等の海外展開の取り組みが進展。

## (3) 水環境ビジネスの定義

- 水ビジネスとは、主に上下水道の設計構築・運営管理や海水淡水化や高度技術を用いたプラント建設などを指す。
- 水環境ビジネスとは、水環境保全に係る分析機器の開発や水処理施設の省エネルギー化など、水に関わる環境分野のビジネスを含めた広い意味で捉えている。

## 2. これまでの取り組み (1)平成23年度

### ①「水環境ビジネス展開研究調査」を実施

目的:水環境に関するビジネスのポテンシャルを活かした展開を推進するため、取組の方向性をとりまとめる

調査方法:企業アンケート(約1000社)、ヒアリング調査(26社)、有識者による研究会の開催(計4回)

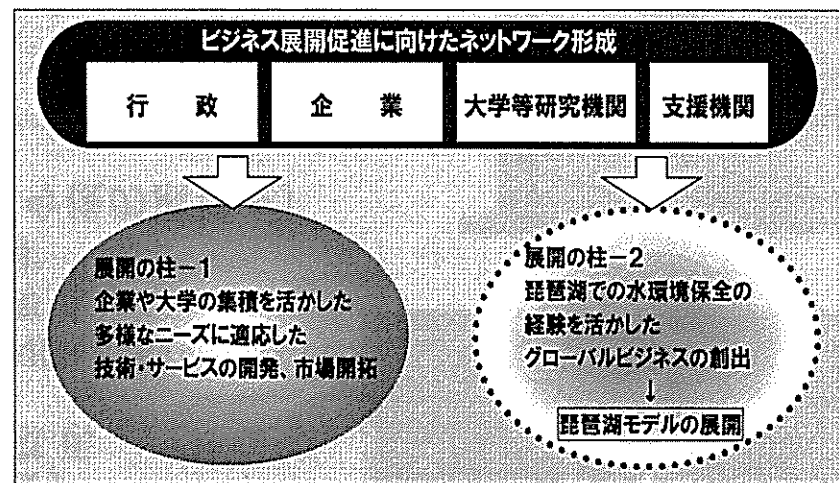
結果概要:

#### ○滋賀県における水環境ビジネスの強み

- ・水環境に関する優れた技術や知見を有する企業、研究機関の集積
- ・琵琶湖流域の環境保全に関する官民による取組の蓄積、関心の高さ

#### ○水環境ビジネス推進上の課題

- ・水環境ビジネスの展開に不可欠な、技術やサービスをシステムで提案できる企業が少ない
- ・海外展開の情報、専門人材の不足 など



### 水環境ビジネスの展開の方向性

最新動向の情報提供や新規プレイヤーを発掘するためのセミナーの開催

プラットフォームを形成し、特に中小企業のパートナーの発掘やマッチングを進める

企業のみならず住民、行政を含む本県の水環境にかかる取組の蓄積の整理

企業の技術・サービスと併せて売り込み

県内企業の  
水環境ビジネスへの  
参入・事業拡大へ

## 2. これまでの取り組み (2) 平成24年度

### ①しが水環境ビジネスセミナーの開催

目的: 世界における水ビジネスの最新動向や先行事例を提供し、気運の醸成を図るとともに、フォーラム立ち上げに向けたネットワーク形成を促進する。

日時: 平成24年10月24日10:00-12:00

場所: 長浜ドーム(びわ湖環境ビジネスメッセ会場内)

基調講演: 「世界水ビジネスの最新動向と参入機会」  
グローバルウォーター・ジャパン 代表 吉村 和就 氏

事例発表: 「水ビジネスの海外展開戦略(関西HANDsの取り組み)」  
(株)ナガオカ 代表取締役社長CEO 三村 等 氏  
「独自の水環境ビジネスの展開をめざす  
～中小企業の国際化の始まりから今後の展望～」  
(株)日吉 代表取締役社長 村田 弘司 氏

施策紹介: 近畿経済産業局  
滋賀県

結果概要:

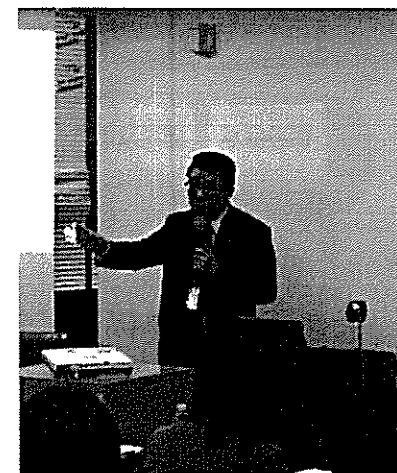
参加者: 79名

アンケート結果(主なコメント):

- ・水ビジネスの流れがよく分かった。
- ・トップの姿勢、スピードの重要さが非常に参考になった。
- ・日本企業の合同戦略の重要性を再認識した。
- ・日本企業の連携成功事例は大変参考になった。



セミナーの様子



GWJ代表吉村氏の講演

## 2. これまでの取り組み (2) 平成24年度(つづき)

### ②しが水環境ビジネス見学会

目的: 水環境ビジネス展開を図る上で参考となる施設の見学や水ビジネスの最新動向などを提供し、  
気運の醸成を図るとともに、フォーラム立ち上げに向けたネットワーク形成を促進する。

日時: 平成24年11月16日 13:40-17:15 場所: 湖南中部浄化センター

講演: 「水ビジネスの現状と今後の展望について」

(株)神鋼環境ソリューション 水処理事業部 プロジェクト営業室課長 梶田 均 氏

説明: 「湖南中部浄化センターについて」

滋賀県下水道公社

「滋賀県の下水道事業における課題と水ビジネス-淡海環境プラザの開設と今後の展開-」

滋賀県琵琶湖環境部下水道課

視察: 湖南中部浄化センター、テストベッド、淡海環境プラザ

参加者: 59名



汚水処理施設の視察



テストベッド用地の視察



淡海環境プラザの視察



講演風景

### ③北九州市海外水ビジネス推進協議会、ウォータープラザ北九州の視察

日時: 平成24年11月27日 参加者: 9名

- ・北九州市では、上下水道事業における豊富な管理運営ノウハウや国際技術協力で培ったネットワークを活用し、上下水道局職員20名と水道協会職員10名の計30名体制で水ビジネスを展開。
- ・ウォータープラザ北九州では、NEDO事業を活用し、東レ、日立プラントなどが参画して、海水淡水化と下水再利用を統合させた造水システムの実証プラントと、先端技術を開発するテストベッド(5区画)を整備。



## 2. これまでの取り組み (2)平成24年度(つづき)

### ④ベトナム政府視察団の受け入れ

日時:平成24年12月5日

高い経済成長が続くベトナムでは、新たな工業団地の造成計画に伴い、排水処理や環境対策が急務。今回はJICA事業により来日した建設省、ハナム省、ドンナイ省、バリアウンダウ省、ハイフォン市の政府関係者及び工業団地管理者等11名を受け入れ。

説明:滋賀県における水環境保全の取り組み等

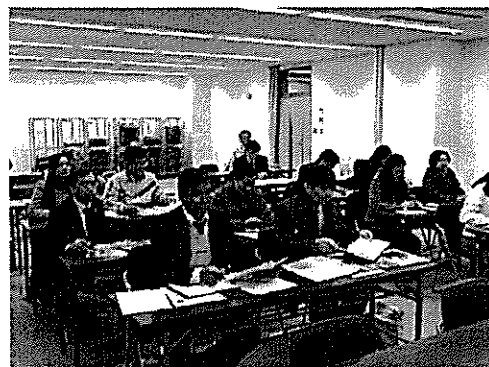
(株)日吉

滋賀県琵琶湖環境部 環境政策課

視察:東北部浄化センター、大洋産業(株)(彦根市)、高橋金属(株)(長浜市)



視察の様子



講義風景



視察先の講師とベトナム政府視察団

### ⑤国との連携による情報の収集・提供

- ・関西・アジア 環境・省エネビジネス交流推進フォーラム (Team E-Kansai) に県も参画 (平成24年5月29日)
- Team E-Kansaiが持つ海外現地ニーズ(タイ、ベトナム、中国広東省、遼寧省)の情報収集、企業へ情報を提供等

### 3. 今後の取り組み

#### (1) 平成24年度の予定

##### ① 第2回しが水環境ビジネスセミナー

目的: 世界における水ビジネスの最新動向や先行事例を提供し、気運の醸成を図るとともに、フォーラム立ち上げに向けたネットワーク形成を促進する。

日時: 平成25年1月28日14:00-18:15

場所: コラボしが21 大会議室(3階)

基調講演: 「中国の水環境と水ビジネスの動向」(株)チャイナ・ウォーター・リサーチ

事例発表: 「当社の排水プロセスと海外展開について」(株)アオヤマエコシステム

施策紹介: (独)日本貿易振興機構大阪本部、滋賀県

##### ② (仮)しが水環境ビジネス推進フォーラムの立ち上げ・第3回しが水環境ビジネスセミナー

概要: 水環境ビジネスに取り組もうとする企業とビジネス展開を支援する研究・支援機関等によるプラットフォームとして、「しが水環境ビジネス推進フォーラム」を立ち上げ。

日時: 平成25年3月25日13:30-18:00

場所: コラボしが21 大会議室(3階)

プログラム: 調整中

##### ③ (仮)水環境ビジネス推進フォーラム・ポータルサイトの立ち上げ(県HP内)

フォーラム等の水環境ビジネスセミナーなどの情報や、フォーラムに参画する企業等の紹介を行うポータルサイトを24年度内に立ち上げる。

##### ④ しが水環境ビジネスPR冊子の作成

滋賀県における先駆的な水環境保全の取組と集積する技術・サービス等を紹介する冊子を作成。

今後のビジネス展開を図る上での売り込み先への配布や説明資料として活用。

日本語、英語、中国語の3ヶ国語(平成25年3月末完成予定)

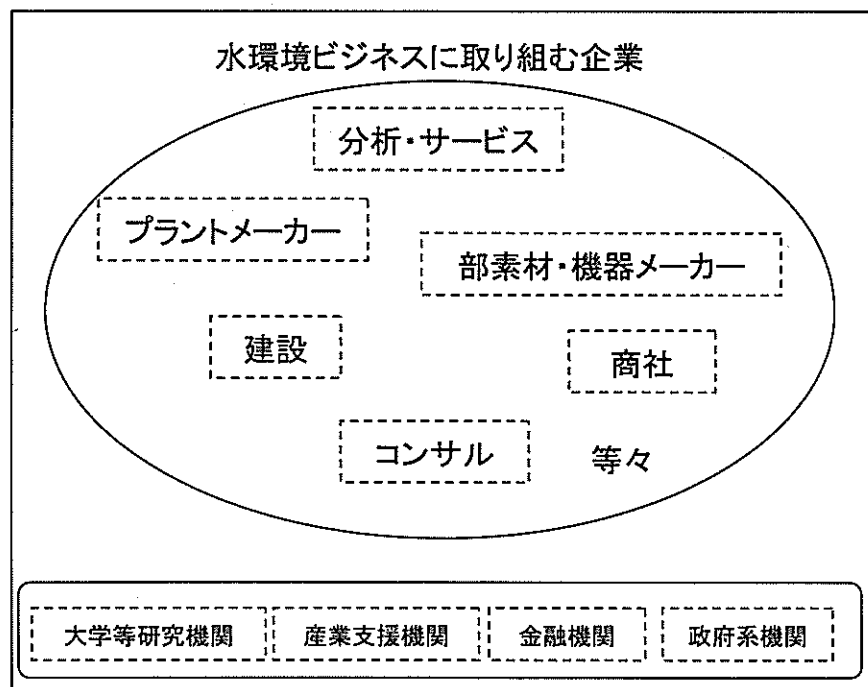
### 3. 今後の取り組み(平成25年度以降に向けて)

「(仮)しが水環境ビジネス推進フォーラム」をもとに、近畿経済産業局・Team E-kansaiなどと連携しつつ、大手企業とのマッチングなどにより、個別プロジェクトへの参画やプロジェクトの創出を促進していく。

平成24年度

平成25年度～

(仮)しが水環境ビジネス推進フォーラムの立ち上げ



連携・協力

近畿経済産業局 Team E-Kansai

関西HANDs

- メンバー企業の技術等のデータベース構築
- 最新動向や事例提供
- 課題・ニーズ毎の分科会の開催
- コアとなる水処理大手等とのマッチング
- 淡海環境プラザの活用(下水道事業における課題解決の開発等)

水環境にかかる個別プロジェクトへの参画やプロジェクトの創出

××国  
○○工業団地  
排水処理プロジェクト

○○処理にかかる革新的技術開発プロジェクト

県内企業の  
水環境ビジネスへの  
参入・事業拡大へ



# しが水環境ビジネスセミナー(第二回)

入場無料・先着申込順 70名

とき 平成25年 1月28日(月) 14:00~18:15

ところ コラボしが21 3階大会議室  
(大津市打出浜2-1)

世界では、人口増加と経済発展、都市化の進展による新興国を中心とした水需要の増加および河川・湖沼における水質の悪化から、水環境関連産業のビジネスチャンスが急速に拡大しています。

こうした中、滋賀県では、水環境関連の産業・研究機関の集積やこれまでの琵琶湖での水環境保全の取組を活かした水環境ビジネスの展開を図るため、官民連携のプラットフォーム「(仮)しが水環境ビジネス交流推進フォーラム」の立ち上げを進めています。

第2回目となる本セミナーでは、3月のフォーラム立ち上げに向けて、世界的な水ビジネスの最新動向や先進事例などの紹介に加えて、水環境ビジネスを展開する参加企業の交流促進に向けた交流会を開催します。

## ||||| プログラム |||||

第1部 講演 14:00 ~ 17:10

基調講演

「中国の水環境と水ビジネスの動向」

内藤 康行氏 株式会社チャイナ・ウォーター・リサーチ 代表

講演

「当社の排水プロセスと海外展開について」

青山 章氏 株式会社アオヤマエコシステム 代表取締役社長

事業紹介

「(仮)環境ビジネス分野の海外展開支援の紹介」

余田 知弘氏 (独)日本貿易振興機構【JETRO】大阪本部 事業推進課 課長代理

事業説明

「(仮)しが水環境ビジネス交流推進フォーラムについて」

廣脇正機 滋賀県商工観光労働部商工政策課 課長

第2部 ワンコイン交流会 17:15 ~ 18:15  
(参加費:500円)

主催：滋賀県商工観光労働部商工政策課

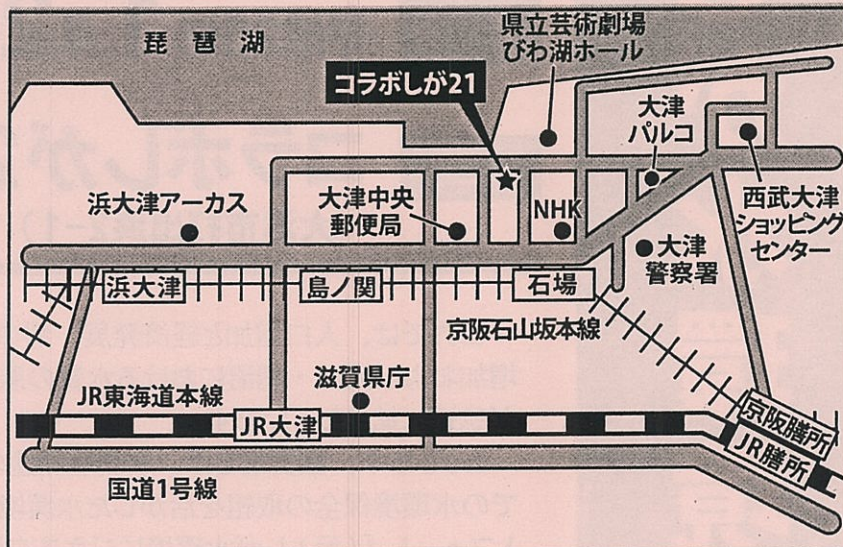
お問合せ「しが水環境ビジネスセミナー」事務局（株式会社ダン計画研究所内）TEL：06-6944-1173



# しが水環境ビジネスセミナー(第2回)

とき 平成25年1月28日(月)  
14:00~18:15  
ところ コラボしが21 大会議室  
(大津市打出浜2-1)

## 【アクセス】



- 「JR大津」駅よりバス約7分、または徒歩約20分
- 「JR膳所」駅/「京阪膳所」駅より徒歩約15分
- 「京阪石場」駅より徒歩約3分

※駐車スペースに限りがありますので、お越しの際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

## 【講師プロフィール】

### ■内藤 康行氏(株式会社チャイナ・ウォーター・リサーチ 代表)

台湾大学卒業後、丸紅、日揮、ヴェオリアウオータージャパンを経て、2009年独立しチャイナ・ウォーター・リサーチを設立。中国ビジネスは約30年を超え、業務関係では100社以上の交流を構築。現在、豊富な人脈を活用し、日本企業に活動のチャンスと業務提携へのプラットフォームを提供。また、中国教育機関最高峰の清華大学環境学院と共催し、毎年「日中環境技術合作セミナー」を開催するなど、日中の環境保護分野で貢献。

### ■青山 章氏(株式会社アオヤマエコシステム 代表取締役)

独自のノウハウを駆使したプラント・配管洗浄事業、リサイクル炭による排水処理技術を活かした廃パレット炭化リサイクル事業、顧客が抱える課題に対して最適な解決策を提案するファクトリーソリューションを軸に、独自のリサイクル事業の分野で活躍中。人が「安全に生き続けられる」環境を構築するEcological Economy Systemを展開させ、海外進出も見据えたさらなる事業拡大を図っている。

**FAX: 06-6944-8736** ※申込締切1月24日(木)まで

しが水環境ビジネスセミナー 事務局 宛

必要事項をご記入のうえ、上記のFAX番号 宛へ本参加申込書をお送りください。

事業所名		TEL	
所在地	〒	FAX	
		Eメール	
参加者	お名前 _____ 部署・役職 _____	交流会への参加(いずれかに○) 参加する ・ 参加しない	
	お名前 _____ 部署・役職 _____	交流会への参加(いずれかに○) 参加する ・ 参加しない	
	お名前 _____ 部署・役職 _____	交流会への参加(いずれかに○) 参加する ・ 参加しない	

※ご記入いただいた個人情報は、主催者においてセミナー開催に関わる事務処理、主催者のセミナー、各種支援策案内のためにのみ利用します。また、承諾なく第三者に提供することはありません